

平成25年行政事業レビューシート

(総務省)

事業名	アジア地域行政会議等分担金		担当部局庁	自治大学校	作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	事業開始年度 【EROPA】昭和35年度 【UCLG】昭和36年度 (UCLGの前身であるIULAへの加盟年度) 事業終了(予定)年度 【EROPA】- 【UCLG】-		担当課室	研究部	部長 永井 克典		
会計区分	一般会計		政策・施策名	その他			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	【EROPA】EROPA憲章第50条a 【UCLG】UCLG憲章第14条 UCLG-ASPAC憲章第13条 ※ UCLGの分担金は、世界組織とアジア太平洋支部(UCLG-ASPAC)に分けて支払うことになっている。		関係する計画、通知等	【EROPA】昭和35年12月に加盟について閣議決定、同月加盟 【UCLG】昭和36年7月に準会員としてUCLGの前身であるIULAに加盟			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	【EROPA】EROPAにおける研究、研修等に参画することによりわが国の行政水準の向上を図るとともに、アジア・太平洋地域の地方行政の水準向上において主導的役割を果たすこと 【UCLG】UCLGにおける情報交換を行うことによりわが国の行政水準の向上を図るとともに、会員各国における地方自治の発展に資すること						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	【EROPA】EROPA(Eastern Regional Organization for Public Administration:行政に関するアジア・太平洋地域機関)は、アジア・太平洋地域の行政の向上を図ることを目的に昭和35年に設立され、現在10カ国が加盟している。わが国は閣議決定を経て創設時より加盟しており、国家会員として分担金を支出している。総会、執理事務会時に開催される研究会に出席し研究報告、意見・情報交換を行うほか、地方行政センターとして、研修生の受入れや比較論文集の作成等を行っている。 【UCLG】UCLG(United Cities and Local Governments:国際都市・地方政府連合)は、地方自治の強化等を目的に、IULA(国際地方自治体連合)、UTO(国際町村連合)、Metropolis(国際大都市会議)が統合して平成16年に設立され、世界2,500以上の地方自治体等が加盟する組織である。自治大学校は前身のIULAの時から準会員として分担金を支出しており、UCLG-ASPAC総会等に出席し情報収集、意見・情報交換や世界的なネットワークの構築等を行っている。 ※ 会員の種類は、地方自治体会員、国際組織会員、準会員等があり、自治大学校は準会員の資格に該当している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求
	予算の状況	当初予算	1.2	1.1	1.1	1.1	1.33
		補正予算	0	-0.4	-0.4	0	
		繰越し等	0	0	0	0	
	計		1.2	0.7	0.7	1.1	1.33
執行額		0.7	0.7	0.7			
執行率(%)		58.3%	100.0%	100.0%			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)
	本事業は、総会、執理事務会に出席することによりアジア・太平洋地域における行政の最新動向等について情報収集・交換を図るものであり、分担金という性格からも、定量的な成果目標の設定にはなじまないものである。なお、平成24年度インドネシア執理事務会における分科会論文発表数は60本であり、日本からも3人が発表を行い、情報収集・交換を行った。これら研究報告、意見・情報交換を通じて行政水準の向上を図った。		成果実績	-	-	-	-
		達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	総会は2年に1回、執理事務会は毎年開催されており、毎年出席している。また、平成25年度は平成7年以来18年ぶりに日本で総会が開催される。		活動実績(当初見込み)	総会・執理事務会への出席	1	1	1
				(1)	(1)	(1)	(1)
単位当たりコスト	(円/) ※算出困難なため、未記載		算出根拠	-			
平成25・26年度 予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
	EROPA分担金	0.8	0.96	レートの変更(H25 1ドル=82円 → H26 1ドル=96円)			
	UCLG分担金	0.3	0.37				
計	1.1	1.33					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費 必要 投入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本が国家代表として加盟している組織への分担金であり、国が取り組むべき事業である。 また、アジア・太平洋地域における行政の最新動向等について更なる情報収集・交換を図ることは広く国民の利益に資すると考えられ、優先度が高い事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	分担金という性格上、コストの削減や競争性の確保等にはなじまないものである。 また、毎年決定される拠出金のみを支出している。 なお、不用率については、平成22年度よりEROPAの分担金額が引き上げられる予定であったものが、平成21年度の水準のまま据え置かれていることに伴うものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○				
事業 性 の 有 効	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	上述した事業の内容及び分担金という性格上、定量的な活動・成果指標の設定にはなじまないものである。 また、アジア・太平洋地域の最新動向について幅広く情報収集・交換を図る上で、総会、執行理事会において発表される各種の論文・報告等は有用である。このため、今後とも同会議に継続して出席することにより、これら論文等の更なる収集・活用を図る。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 (役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	【EROPA】 EROPAに引き続き加入し、総会、執行理事会に出席することにより、アジア・太平洋地域における行政の最新動向等について更なる情報収集・交換を図る。また、毎年開催される執行理事会において、加盟国等に対してEROPAの活動報告及び会計報告が行われるところ、分担金の効果的な支出の是非につき、今後ともその執行状況を注視していく。					
	【UCLG】 準会員として事業内容等について確認するとともに、会員各国における地方行政に関する課題等に対する効果・実績の検証を今後行う。					
外部有識者の所見						
必要かつ妥当な支出である。アウトカムについては、論文発表、研究発表などがある以上、論文、発表の本数、新規性を明示し、そのソーシャルインパクトに言及すべきであろう。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
現 状 通 り	引き続き適正な予算執行に努めること。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現 状 通 り	引き続き適正な予算執行に努める。 (なお、外部有識者のご指摘については反映済みである。)					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	0001-5	平成23年	0005	平成24年	0005

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

【EROPA】

日本(総務省)
0.4百万円

国家会員として、総会、執行理事会及び研究会に出席し研究報告等を行う他、専門センターの一つである地方行政センターの運営を行う。



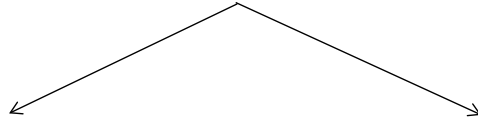
A. EROPA
0.4百万円

総会、執行理事会及び研究会を主催し、その内容を各国政府に報告する他、研究会内容の出版及び3つの専門センターの監督、運営等を行う。

【UCLG】

総務省自治大
0.3百万円

地方行政に関する課題の検討や情報交換等を行う。



B. UCLG(世界組織)
0.2百万円

総会、世界評議会、各地域支部毎の総会、執行理事会を開催し、課題等についての検討、報告等を行う。

C. UCLG-ASPAC
(アジア太平洋支部)
0.1百万円

アジア太平洋支部の総会、執行理事会の開催、代表の選出、課題等についての検討、報告を行う。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて
補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額が
 支出されている者
 について記載す
 る。費目と使途の
 双方で実情が分
 かるように記載)

A.EROPA			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	アジア地域行政会議国家会員分担金	0.4			
計		0.4	計		0
B.UCLG(本部及びアジア支部)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際都市・地方政府連合分担金 (世界組織)	0.2			
計		0.2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分担金	国際都市・地方政府連合分担金 (アジア太平洋支部)	0.1			
計		0.1	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	EROPA	総会、執行理事会及び研究会を主催し、その内容を各国政府に報告する他、研究会内容の出版及び3つの専門センターの監督、運営等を行う。(分担金額4,950 \$。1 \$ = 81円の支出官レートで送金)	0.4		

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UCLG(世界組織)	総会、世界評議会、各地域支部毎の総会、執行理事会を開催し、課題等についての検討、報告等を行う。(分担金額1,850 \$。1 \$ = 81円の支出官レートで送金)	0.2		

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	UCLG(アジア太平洋支部)	アジア太平洋支部の総会、執行理事会の開催、代表の選出、課題等についての検討、報告を行う。(分担金額1,250 \$。1 \$ = 81円の支出官レートで送金)	0.1		